

令和 7 年 5 月 2 8 日（水）

令和 7 年度第 2 回定例教育委員会

会議録

我孫子市教育委員会

- 1 招集日時 令和7年5月28日（水）午後2時00分
- 2 招集場所 教育委員会 大会議室
- 3 出席委員 教育長 丸 智彦 委 員 村松 弘康  
委 員 新山 訓代 委 員 中村 通宏  
委 員 横山 春奈
- 4 欠席委員 な し
- 5 出席事務局職員  
教育総務部長 佐藤 和文 生涯学習部長 菊 地 統  
生涯学習部次長兼文化・スポーツ課長兼白樺文学館長兼杉村楚人冠記念館長 辻 史 郎  
教育総務部次長兼学校教育課長 山崎美弥子  
総務課長 高 橋 純  
教育相談センター所長 遠 藤 美 香  
指導課長兼小中一貫推進室長 鈴 木 美 枝  
少年センター長 佐藤 友一  
生涯学習課長 斉 藤 幸 弘 生涯学習課主幹 段 林 恭 子  
鳥の博物館長 大 山 絢 子 図書館長 中 山 千 草  
学校教育課主幹 齊 藤 優 学校教育課主幹 蛭 原 弘 治
- 6 欠席事務局職員 な し

午後 2 時 0 0 分開会

○丸教育長 ただいまから令和 7 年度第 2 回定例教育委員会を開会します。

---

#### 会議録署名委員指名

○丸教育長 日程第 1、我孫子市教育委員会会議規則第 3 1 条の規定により、  
会議録署名委員を指名します。横山委員にお願いします。

---

#### 議案第 1 号

○丸教育長 日程第 2、議案の審査を行います。

議案第 1 号、我孫子市いじめ防止対策委員会委員の委嘱について、事務局から説明をお願いします。

○鈴木指導課長 議案第 1 号、我孫子市いじめ防止対策委員会委員の委嘱についてです。

提案理由は、我孫子市いじめ防止対策委員会委員の任期満了に伴い、我孫子市いじめ防止対策委員会設置要綱第 2 条第 2 項及び第 3 条第 1 項の規定に基づき、我孫子市いじめ防止対策委員会委員を新たに委嘱するため、提案するものです。

2 ページ、我孫子市いじめ防止対策委員会委員候補者は、再任 8 名、新任 4 名、合計 12 名の方に委嘱をお願いするものです。委嘱期間は、令和 7 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までの 2 年間です。以上です。

○丸教育長 ありがとうございました。以上で説明が終わりました。

これより質疑を許します。質疑があれば挙手をお願いします。

——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

---

○丸教育長 これより採決します。

議案第 1 号、我孫子市いじめ防止対策委員会委員の委嘱について、原案に賛成の委員は挙手願います。

(賛成者挙手)

○丸教育長 挙手全員と認めます。よって、議案第 1 号は可決されました。

---

#### 議案第 2 号

○丸教育長 続きまして、議案第 2 号、我孫子市文化財審議会委員の委嘱について、事務局から説明をお願いします。

○辻文化・スポーツ課長 議案第 2 号、我孫子市文化財審議会委員の委嘱についてです。

提案理由は、我孫子市文化財審議会委員の任期満了に伴い、我孫子市文化財の保護に関する条例第 19 条第 1 項及び第 2 項の規定に基づき、我孫子市文化財審議会委員を新たに委嘱するため、提案するものです。

委嘱期間は、令和 7 年 6 月 1 日から令和 9 年 5 月 31 日までの 2 年間、委嘱年月日は令和 7 年 6 月 1 日です。委嘱人数は 7 名で、1 番と 2 番の方は新任となります。なお、2 番の方の分野である「歴史」は古代史を中心とするもの、5 番目の方の「歴史」は、近世から近代までを中心とするもので、同じ「歴史」でも分野が異なっています。以上です。

○丸教育長 ありがとうございました。以上で説明が終わりました。

これより質疑を許します。質疑があれば挙手をお願いします。

——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

---

○丸教育長 これより採決します。

議案第2号、我孫子市文化財審議会委員の委嘱について、原案に賛成の委員は挙手願います。

(賛成者挙手)

○丸教育長 挙手全員と認めます。よって、議案第2号は可決されました。

---

### 諸 報 告

○丸教育長 日程第3、諸報告を議題とします。

事前に配付された事務報告、事務進行予定資料などに補足する説明や追加する事項が全部で5点ございますので、そちらの説明から始めます。

1点目、学校基本調査の結果報告について、山崎学校教育課長、お願いします。

○山崎学校教育課長 学校基本調査を基に令和7年5月1日現在の我孫子市内児童生徒数の推移と教職員の状況をまとめましたので、御報告します。

まず、小学校児童数の推計についてです。令和7年度の児童数は5,284名となっており、現在の住民記録台帳を基にした推移になりますが、令和14年度の児童数は令和7年度対比として我孫子第二小学校を除いた全ての小学校が減少する想定となっています。

続いて、中学校生徒数の推計についてです。令和7年度の生徒数は2,753名となっており、令和14年度の生徒数は令和7年度と比較して全中学校が減少する想定となっています。特に減少幅が大きい中学校は、我孫子中学校、久寺家中学校、白山中学校と我孫子市の西側地区の中学校となっています。推定ですが、マンション等の大規模開発によって若い年代が成長したことによる人口減少というような数字となっています。

6中区の児童生徒数の推移においても、全ての中区で減少となり、特に久寺

家中区がマイナス４３３名と一番大きく減少しています。また、減少率では、令和７年度対比になりますが、久寺家中区と湖北台中区は、約３０％程度減少するということで、減少率も高くなっています。

続いて、令和７年度の市内小中学校の教職員の平均年齢になります。まず、校長職が５６．４歳、教頭職が４６．２歳、教諭・主幹教諭が３９．５歳、養護教諭が３９．９歳、事務職員が３６．６歳、栄養職員が５１．４歳となっており、昨年度と比較して、事務職員のみが平均年齢が上がり、その他の職員は下がっている状況です。特に校長・教頭・養護教諭については、退職された方の後に若い方の採用ということで、１歳から２歳ぐらい平均年齢が下がっている状況です。

続いて、令和７年度年齢別県費負担教職員数についてです。管理職・教諭ともに、特に５９歳以下の１０年から１１年間の職員が極端に減少する状況となっています。かつてのミドルリーダー世代の職員が空白と言われていましたが、その年代が上がり、ここ数年で、学校の要となる経験豊富な職員がいなくなる事態が発生することになります。管理職についても、今年度、校長が５名、来年度は１名が役職定年を迎えることを受け、管理職の人材育成や次期管理職となる職員の育成に尽力しているところです。

最後に、教諭及び主幹教諭の学校別の比較についてです。小学校全体の男女比については、小学校は男性が３５％、女性が６５％と女性教諭の割合が多く、平均年齢については、男性が３８．２歳、女性が４０．４歳、全体では３９．６歳と男女ともに平均年齢が微増しているような状況です。中学校全体の男女比は、小学校とは反対に、男性が５９％、女性が４１％と男性教諭の割合が高く、平均年齢は、男性が４０．２歳、女性が３８．４歳、全体では３９．４歳と男女ともに平均年齢が下がっている状況となっています。市内全体では、男性が３９．１歳、女性が３９．９歳、全体では３９．５歳というこ

とで、昨年度とほぼ同様の年齢となっています。以上です。

○丸教育長 ありがとうございました。御質問等あればお願いします。

児童生徒数について、一番多い時は1万9,800人ぐらいいましたが、今は1万人以上少なくなっている状況です。特に久寺家中区は、マンションに住んでいる子どもたちが成長したことで、大幅に少なくなっています。

教職員の平均年齢は、私が教職員の頃は45歳でしたが、これだけ若返っている状況です。あと10年後には、同じような状況になると思います。

よろしいですか。

続いて2点目、「2025ファミリースポーツテスト×NECグリーンロケッツ東葛親子向けラグビー体験会」について、辻文化・スポーツ課長、お願いします。

○辻文化・スポーツ課長 毎年実施している「ファミリースポーツテスト」ですが、スポーツ庁の定める新体力テストのテスト項目である、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、立ち幅跳びなどを体験していただき、参加者が体力を把握し、スポーツに取り組むきっかけ作りを提供したいと考えています。また、大好評の「親子向けラグビー体験会」は、NECグリーンロケッツ東葛の協力の下、現役のラグビー選手からラグビーの基礎を教わる体験教室となります。

ファミリースポーツテストは当日参加、ラグビー体験会はちば電子申請サービスからの申込みとなります。以上です。

○丸教育長 ありがとうございました。御質問等よろしいですか。

毎年、大体どれくらいの参加者が来られるのですか。

○辻文化・スポーツ課長 毎年100人前後の方がお見えになります。当日の天気やその他のイベントの兼ね合いで人数が増減しています。

○丸教育長 ありがとうございます。よろしいですか。

続いて、3点目、我孫子通信 文人の郷だよりについて、辻文化・スポーツ課長、お願いします。

○辻文化・スポーツ課長 白樺文学館、杉村楚人冠記念館学芸員と館長による2館共通年間パスポート購入者への特典となっているこの通信は、令和7年春号で第19号となります。今回の学芸員のテーマは「文人お気に入りの文房具について」、館長は「リーチ岬について」記しています。皆さんが楽しく読めて、ためになることを目指し、今後も自己研鑽を積んでまいりたいと思います。よろしく御一読ください。

○教育長 ありがとうございます。御質問等あればお願いします。

よろしいですか。

続いて、4点目、旧井上家住宅イベント「ぬいどり！」について、辻文化・スポーツ課長、お願いします。

○辻文化・スポーツ課長 4月29日に旧井上家住宅イベント「ぬいどり！」を実施しました。こちらは、ぬいぐるみを旅行やお気に入りの場所に連れ出して撮影しようといったイベントなのですが、自慢の写真をSNS等に投稿して楽しんでいただくというような趣旨になります。こういったぬいぐるみとともに行動することを「ぬい活」と昨今では呼んでいますが、コスプレと並んで地域活性化策として注目されていると新聞等でも報道されています。市としては初めてのイベントとなります。

当日は、よく晴れて爽やかな風の吹く中、午前の部30名、午後の部20名が思い思いのぬいぐるみやパペットを持って参加されました。参加者は、市が貸し出した昔の古い道具類などとともに母屋の屋内外で「ぬいどり」を楽しめました。

隣地のカフェでは、市民団体と共同主催・共同開催したマルシェが開催され、400名ものお客様が旧井上家住宅を訪れ、集客効果が上がりました。アンケート



ート結果でも、「タイムスリップしたような写真が撮れて楽しかった。」「貴重な文化財で子どもがお気に入りのぬいぐるみを持ち込んで写真を撮って楽しめた。」「人目を気にせず思い切り楽しめた。」と概ね好意的な評価をいただきました。

皆さんが撮影してくださった作品は、旧井上家住宅の新土蔵で展示するほか、時期を改めてこのイベントを実施したいと考えています。また、担当では、杉村楚人冠記念館においても同様のイベントを実施したいということで時期を検討しています。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。御質問等あればお願いします。

私にも「すごくよかった。」という報告が入りました。ぜひ次も楽しみにしていきたいと思います。

よろしいですか。

続いて、5点目、志賀直哉「暗夜行路」の草稿について、辻文化・スポーツ課長、お願いします。

○辻文化・スポーツ課長 昨日の定例記者会見において報告させていただきました志賀直哉「暗夜行路」の草稿発見についてです。こちらは、市内の個人宅から発見されたもので、志賀直哉全集に納められていない新出の資料として非常に貴重な草稿となります。

「暗夜行路」は、志賀直哉唯一の長編小説として知られており、我孫子に住む以前の大正元年頃から志賀直哉が執筆に取りかかり、途中で試行錯誤や中断を繰り返しながら、大正10年、我孫子在住の際に「暗夜行路」の前編として発表されました。その過程で、多くの草稿が作られましたが、ほとんどが東京駒場にある日本近代文学館に納められており、その内容は「志賀直哉全集」に掲載されているものです。今回発見された草稿は市販のノートに書かれており、ページ数にして49ページ分、「暗夜行路」の後編の内容と一部一致するもので

した。また、このノートには当時の心境や友人に宛てた手紙の下書き、家の間取り図なども書かれており、我孫子に住む直前の大正4年夏頃、当時、群馬県の赤城山中に志賀は住んでいましたが、そこで執筆されたものと考えられます。我孫子で大正12年に去り、京都に移住するのですが、その際に交流のあった市内在住の小熊太郎吉氏に譲ったものだと見られます。

白樺文学館では市制55周年記念事業として、この草稿を白樺文学館で展示をする予定です。

また、今回の資料に関して、志賀直哉研究の専門家である同志社女子大学の生井知子教授に鑑定を依頼したところ、志賀直哉の真筆であるということのお墨付きをいただいています。また、生井先生によると、志賀直哉の「暗夜行路」の前編後編とありますが、後編の草稿はほとんど残っておらず、そういう意味でも、こちらは貴重な資料であるとされています。

また、今回の件については、今日の読売新聞の夕刊で報道予定、それから先ほど確認しましたところ、NHKでは午後3時からのニュース、午後6時から首都圏ネットワークではほかに事件がなければ報道するということですので注目していただけたらと思います。以上です。

○丸教育長 ありがとうございました。御質問等あればお願いします。

現在は、白樺文学館に置いているのですか。

○辻文化・スポーツ課長 現在は教育委員会に置いてあり、追加で取材があれば対応できるように備えています。

○丸教育長 分かりました。

よろしいですか。

それでは、これより事務報告に対する質疑に入ります。

質疑があれば挙手をお願いします。

○横山委員 6ページ、1番「第1回小・中学校長期欠席児童生徒対策連絡協

議会」の内容に記載されている「東葛飾地区不登校等児童生徒サポートセンター訪問相談担当教員」について説明していただけますか。

○遠藤教育相談センター所長 東葛飾区の中の学校に配属されている訪問担当教員がいます。各東葛地区の校内教育支援センターや長期欠席児童生徒の担当、また、アウトリーチ型で、ソーシャルスクールワーカーと連携して、一緒に学校や保護者、児童生徒のサポートをする担当教員がいるので、学校の先生で使命を与えられた先生達のことです。今日も実は2名の先生が「かけはし」と「ひだまり」を見に来てくださり、そこで「こんなふうにやっています」、「ここが少し困っています」というような相談に乗ってくださいました。

○横山委員 ありがとうございます。

○丸教育長 ほかにございますか。

それでは、ないものと認めます。事務報告に対する質疑を打ち切ります。

次に、事務進行予定について、質疑があれば挙手をお願いします。

——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。事務進行予定に対する質疑を打ち切ります。

次に、教育事業全般について、質疑があれば挙手をお願いします。

——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。以上で諸報告に対する質疑を打ち切ります。

---